



令和4年(2022年)第37週 2022年9月12日(月)~2022年9月18日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報

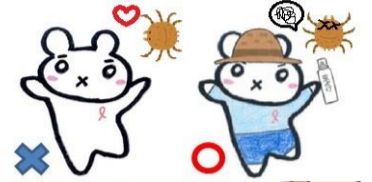
厚生労働省
ホームページ
「動物由来感
染症」



●動物由来感染症について

動物由来感染症とは、動物から人うつる病気の事です。多くの種類がありますが、動物に症状がなくても病原体を持っていて、感染源となる場合もあります。日本では動物由来感染症の発生数は海外に比べて少ないですが、正しい知識を持って動物と付き合うことが大切です。ペットと仲良く健康に暮らすために、次のことを守りましょう。

- 動物との過剰な触れ合いは控えましょう。(細菌やウイルスが動物の口の中にあることがありますので、キスをしたり、スプーンや箸の共有などはしないようにしましょう。)
- 野生動物の家庭での飼育や野外での接触は避けましょう。
- 動物に触ったら、必ず手を洗いましょう。餌として生肉を与えないようにしましょう。
- 動物の身のまわりは清潔にし、糞尿は速やかに処理しましょう。



また、室内で鳥を飼育する時は換気を心がけましょう。(糞中で病原体が増殖したり、糞尿が乾燥して中の病原体が空気中を漂うことがあります。)

- 砂場や公園で遊んだ後は、必ず手を洗いましょう。
- ペットを散歩させる時は、草むらや藪などへ不必要に侵入させず、帰宅時にはマダニが付いていないか確認しましょう。
- 犬の飼い主は、狂犬病予防法で飼い犬の登録と飼い犬への狂犬病予防注射、鑑札と注射済票の装着が義務づけられています。
- 飼っているペットの健康状態に異常が見られた場合はなるべく早めに動物病院で診てもらいましょう。

△ 動物と清潔で健康に過ごすためのルール

動物由来感染症とは、動物から人に感染する病気の総称です。
動物由来感染症には、人も動物も重症になるもの、動物は無症状で人が重症になるもの等、病原体によって様々なものがあります。(エキノコックス症、オウム病、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、レプトスピラ症等)

体調不良を感じたら、早めに医療機関に相談しましょう。(動物との接触状況を医師に伝えましょう)

ペットの健康状態に注意しましょう。ノミやマダニの定期的な駆除と定期検診を受けさせましょう。

期 間		2022年 36週		2022年 37週	
		9/5~9/11		9/12~9/18(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	2	0.08	6	0.24
RSウイルス感染症	↑	13	0.81	11	0.69
咽頭結膜熱(プール熱)	→	0	0.00	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎	↑ (増加中)	29	1.81	55	3.44
水痘(みずぼうそう)	→	0	0.00	0	0.00
手足口病	↑	34	2.13	27	1.69
伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	1	0.06
突発性発しん	→	11	0.69	11	0.69
ヘルパンギーナ	↑	7	0.44	11	0.69
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↑	3	0.60	0	0.00
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00